



こんにちは
町長です

シティープロモーション事業について

「小鹿野町は何て読むのですか?」、
「小鹿野町はどこにありますか?」私が
都内等で名刺を交換する際に度々聞
かれる言葉です。

その際に埼玉県秩父地方にある町で、秩父市の隣にあ
り人口約1万人程の町で、「おがのまち」と読みますとまず
は答えます。更に、明治22年に町制を施行し、信州、上州
等の交流による宿場町として中心部は栄えた古い町で、
日本百名山の両神山があり、伝統文化では地芝居（農村
歌舞伎）の小鹿野歌舞伎、荒川源流で日本名水百選の
毘沙門水のある「花と歌舞伎と名水のまち」で、首都圏の
中で豊かな自然と文化に恵まれた町であることを紹介して
います。

やはり、まず小鹿野町を町外の方に知ってもらうことや、
町民の方にも町の持っているポテンシャルを理解してもらう
ことは、様々な事業を展開する上でも大変重要なことです。

町では、これらを踏まえ本年度から町総合政策課内に
DX・情報政策推進室を設置し、シティープロモーション事
業の取り組みを始めました。この事業は、町内外に町の魅
力を発信することで、町のイメージやブランド力を高め、ヒ
ト、モノ、カネを呼び込み地域経済の活性化につなげる活
動全般のことです。

町民の方から小鹿野町は鉄道駅も高速道路にもなく
発展性がない町だとの声を聞くことがありますが、確かに
そのような現実を受け止めなければなりません。それ以
外で町の持っている良いところやポテンシャルを探して、そ
れらを磨き上げながら発展につなげて行くことが求められ
ていると存じます。

そう言った意味でシティープロモーション事業は、町民
の意識改革を進める事業としても活用してまいりたいと存
じます。町民一人一人が町の良さを理解し、自分たちの町
に誇りと郷土愛を持って住み、町民として町をより住みや
すい地域にしていこうとする当事者意識を持って行動する
ことが、少子化・高齢化が進む中で、持続可能な町として
生き延びて行く切り札になると思っています。

しかし、この事業は全国どこの市町村（過疎地域だけ
なく都市部地域も）でも大なり小なり取り組んでいること
であり、自分の市町村の良いところを全国に発信し、交流人
口や移住者等の獲得に務めており、現在市町村間の熾烈
な競争が繰り広げられています。

したがって、この事業に取り組むに当たっては、ターゲ
ットを意識した町の魅力向上に資する新たな情報の発掘、既
存の情報の魅力向上を目的とした、地域の主体と協業す
るためのプラットフォーム*の立ち上げ、町や地域の主体に
よる情報発信体制を、より強固で持続可能なものとするた
めの工夫など、様々な点で課題を乗り越えなければ成功し
ないと存じます。

そのために、町民一人一人が町の存続に対し危機感
を持って、ワンチームで取り組むことがこの事業が成功する
カギとなると思いますので、ぜひ、絶大なるご協力ご支援
を賜りたいと存じます。

*「プラットフォーム」とは、都心や県南をはじめとした町外の人に魅力的
に映るような、町の魅力発信に特化したwebサイトの新設と、そこに掲載
する情報の関係者や町の魅力を発信したい人が集う環境の運営

小鹿野町長 森 真太郎